

自己評価結果公表シート（令和3年度実績評価）

和泉緑ヶ丘幼稚園

本園の教育目標

・子どもたちが幼稚園生活を通して、「元気な子」「考える子」「思いやりのある子」に成長し、同時に生きる力を身につけていくことを目標とします。また、子どもたちの持つ様々な能力を引き出せるように、人的・物的環境を整え、創意工夫した保育を展開します。
・将来は一人前となり独立できるようになるため、小さい頃から自分の力をたよりに生活できるような力をつけていきます。

1、本年令和3年度に重点的に取り組む目標・計画

いわゆる認知能力の獲得だけでなく、非認知能力の獲得に向けて、保育の進め方を工夫します。具体的には従来の行事が教職員からの教示に基づくもので終わるのではなく、そこに子どもたちの意見や考えが反映されるような教育活動を勧めます。さらに、感染防止を考えた活動を行いながらも、感染状況や気候に応じて臨機応変な対応がとれるようにして参ります。

2、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育の質の向上	重点目標にあげた非認知能力の獲得や幼稚園教育要領にあります。「小学校までに育て欲しい10の姿」につながる活動が、コロナ禍の一定の制限の下ではありましたが、実現できたと評価しています。子どもたちの意見や考えが反映された行事や活動では、生き生きとした姿を見ることができました。 また、令和4年度10月実施の公開保育においても、子どもたちの主体性を重視した保育ができているとの評価がありました。
② 認定こども園への移行について	認定こども園2年目となりましたが、従来の教育活動が確保されていると評価しています。ただし、2・3号定員が増加したことから、教育時間終了後も多数の園児が保育活動を行っており、従来の幼稚園の雰囲気との違いを感じます。課題はたくさんありますが、基準以上の保育教諭を配置することで、教育活動の準備や反省に支障をきたさないよう、一定の配慮はできたと思いますが、本来もう少し教職員を増員し、余裕を持って教育・保育活動に取り組みたいと思っています。
③ 安全・安心面への対応	新型コロナウイルスへの対応が2年目となり、感染防止対策にも一定の取り組みが出来たと考えています。マスクの着用や手指の消毒、マスクをはずした時は大きな声でしゃべらないなど、子どもたちにも理解が進んでいると思います。
④ 研修の充実	コロナ禍で動画による研修が増加して、研修会場までの移動時間が節約できることから、かえって研修会への参加が増加した傾向があります。研修に沢山参加できたというだけではなく、それぞれの研修内容を教育・保育活動にどうやって生かすかを考えていきたいと思っています。
⑤ 小中大学校や地域との連携	コロナの影響による地域教育協議会が休止状態となり、また小学校との交流事業も実施できませんでした。そのような中でも、作品や手紙を交換して生徒と園児が心を通じ合わせたり、教員間の連絡会議を実施したりして連携に努めました。

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

従来の教育活動や行事を踏襲しながらも、それぞれの中に子どもたちの意見や考えが反映されるような活動を進めることが出来てきていると感じています。そしてこのことが、子どもたちの主体性や我慢強さを育み、非認知能力の獲得に少しずつつながっていると実感しています。また、感染症対策を進めることで、新型コロナウイルスと共存した教育・保育活動も徐々に定着してきていると思います。

5、今後取り組むべき課題

課 題	考え方と取り組み方法
教育の質の向上	コロナ禍の感染状況を的確に見極め、徐々にでも従来の教育活動を実施することも含めた質の向上を目指します。また、継続して非認知能力の獲得ができるような教育活動を進めます。さらに今後は、子どもたちの成長の過程を記録し、教育活動の見える化を図ることができれば、さらに質向上につながるものと考えています。
認定こども園移行に関連して	従来の3歳以上の教育活動と1・2歳児の保育活動の連続性についての研修・研究を進めます。
保育環境・施設の整備	老朽化した空調機の入替や補修を進める必要があります。園舎の傷んだ部分の補修を促進します。

6、学校関係者の評価 【】内は園コメントです

・先生同士の連携が取れているので、安心して預けることが出来ます。

・クラス内で「自分のことは自分でする」と教えてもらっているみたいで、お家でも自分でできることは、しっかりと取りくもうと頑張るようになりました。

・ホームクラス(預り保育)の申し込みをインターネットでもできるようにしてほしいです。
【安易な仮予約が発生しないよう電話対応とさせていただいておりますが、引き続き検討いたします。】

・行事の時の保護者の人数制限が守られていないのではないかとと思われる方が見受けられました。決まりに従っているご家庭ばかりなので、そういった時の対応もしっかりしていただきたいです。

・駐車場ではなく住宅街に車を止めて登園させているお母さんがいるので、再度周知していただくと幸いです。【繰り返し啓発して参りたいと存じます。】

・先生によって連絡ノートや電話での連絡がまちまちであると感じます。ケガ・鼻血など体にかかわることは、その日にノートなどで伝えていただきたいです。もちろん頻繁に連絡して下さる先生もいらっしやいます。本当にありがたいと感じています。【先生により村の出ないよう対応して参ります。】

・感染対策についてですが、2年前では卒園式など人数制限やマスクの強制は仕方のないことだと理解していましたが、今現在の時点では少々やりすぎではないでしょうか。特に幼児のマスクは任意にさせていただきたいです。

・制限をかけすぎて行事が簡素化していると感じます。以前に比べて子どもたちにとっての貴重な経験も減りました。子どもは今の幼稚園での生活でもとても楽しんでおりますが、親目線では幼稚園での思い出がほぼありません。
【感染対策につきましては、園児やそのご家族には疾患を持たれた方もおられ、配慮が必要と考えております。今後の国の動きに応じての臨機応変な対応を考えております。】

・バス置き去り対策では、お手紙や取材されたテレビ等でしっかり対策をとって頂いている事を知り、幼稚園の安全面に対する意識の強さを感じ、とても信頼しています。

・いつも温かい目で子どもたちのことを考えて保育してくださり、大変感謝しています。

7、財務状況

公認会計士の監査により適正に運営されていると認められています。ただし、教職員の勤務年数が長くなり、教育・保育の質が向上する一方で、人件費が拡大して財務状況が厳しくなる傾向が続いています。また、施設型給付補助金の計算根拠となる地域区分は、和泉市は6/10であり、大阪市に比べて収入が1000万円程度少なくなっていることで、都市部と比べて教育環境全般が劣ってしまうことが大変懸念されます。